小谷小だより

第　11　号
令和６年
２月20日

E-mail:kodani-sho@city.higashihiroshima.hiroshima.jp

とんど開催　ーみんなの夢や目標が叶いますようにー

寒さが最も厳しかった１月下旬。地域やＰＴＡの皆様のご尽力により，盛大にとんど焼きが行われました。昨年に引き続きの開催ということで，子供たちも楽しみにしていました。

前日は天候があまりよくない中でしたが，たくさんの地域の方々，ＰＴＡの皆様にお越しいただき，準備が進められました。地域で行われてきた文化の伝承の機会ともなったようです。ご協力いただき，ありがとうございました。

当日は天候が回復し，無事とんどを実施することができました。６年生による点火，燃え上がる炎，大きな音をたてて破裂する竹，字を書くのがうまくなりますようにと燃えて舞う習字。今年は，子供たちの夢や目標も飾ったので，きっとみんなの夢や目標がかなうものと思います。どれをとっても，思い出に残る一コマでした。

また，今年度は餅つきも実施していただき，日頃できない経験をさせていただいたことで，子供たちが大変喜んでいました。子供たちに聞いたところ，ほとんどの子供たちが，餅つきが楽しかったと言っていました。

皆様と過ごす心豊かな一日となりました。地域の皆様や保護者の皆様にあらためて感謝いたします。ご協力いただき，本当にありがとうございました。

スマイルチャレンジにご協力いただきありがとうございました！

今年度も，「児童生徒が『普段テレビを見ている』『ゲームをしている』『ネットを見ている』時間を、家族と対話をしたり、読書をしたりする時間に変えることにより、家族と過ごすことの良さや読書の良さを改めて認識する」ことを目的として，スマイルチャレンジ（ノーテレビ・ノーゲーム・ノーネットウイーク）を高屋中学校区で実施しました。本校では，高学年の達成度が高く，児童からは「いつも、夜にテレビを見ていて遅く寝ていたけど、ノーウィークをして早く眠れて気持ちよく起きられたので続けていきたい」や「ネットを使わないことで、兄弟と遊ぶ時間が増えた」などの意見がありました。保護者からも，「宿題をいつもより丁寧にしたり、家族団らんの時間をもったりすることができました」や「料理を手伝ってくれたり、たくさんお話ができたりして、とても嬉しかったです」，「いつもより家族でたくさん話をすることができました」など，たくさんの肯定的な意見をいただきました。

回数としては少ないのですが，この日を機会として，ゲームをする上での注意，インターネットの使い方，インターネットやスマートフォンでの動画の視聴などについて家庭での約束を決めたり，再確認する時間をとったりしていただければと思います。

脱・孤育て　～家庭と学校，保護者同士のつながりで～

先日，高屋町ＰＴＡ研修会が行われ，グループ協議の中で，「孤育て」というワードが出てきました。調べてみると，「現在の日本は核家族化が進み，また，昨今のコロナ禍により各家庭で完結する子育てが行われており，子育てに対して孤立感を感じる」というものでした。

厚生労働省の資料によると，孤立感を解消するために求められているのは「気分転換する時間」，「話せる相手」，「相談できる相手」等が上位を占めていました。

家庭と学校や保護者同士がつながることで，孤育てから抜け出せるのではないかと思います。人と人とのつながりの大切さをもう一度考え直してみてはと感じるこの頃です。

校長　山田　　隆